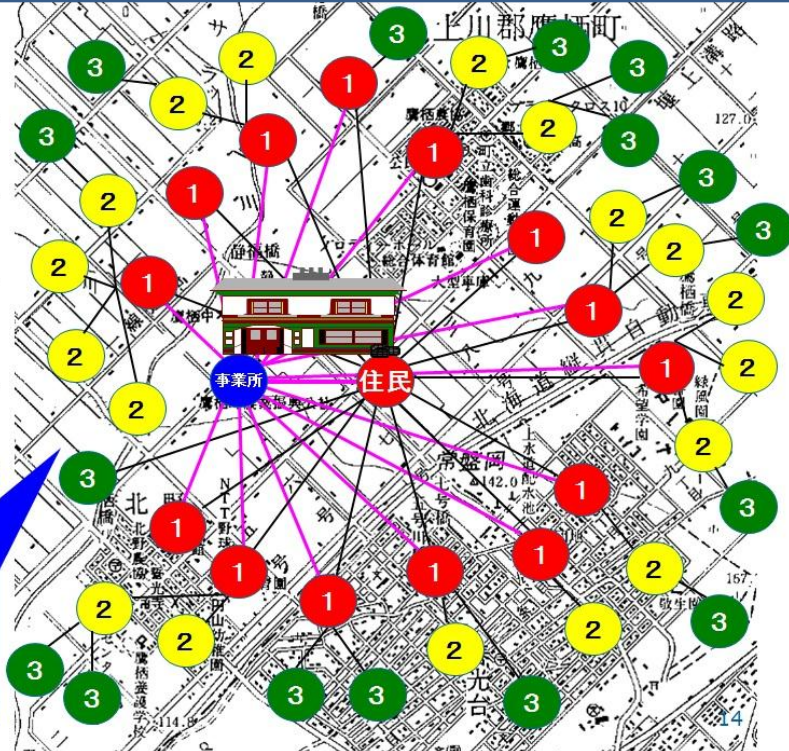


開設三年前から住民・行政・事業所が協力。活発な住民参画がある地域安心拠点(鷹栖町)

- 施設開設の三年前から、地域住民・行政と一緒に勉強会・ニーズ調査・設計など行う。
- その結果、自分たちの仲間づくりを主目的とする互助組織「ぬくもり友の会」が発足。
- 十五名で発足した後、現在六十名の会員が、事業所(サテライト特養+小規模多機能型居宅介護)に併設する地域交流スペースを拠点にして、茶ろん活動、朝市、老いと介護を学ぶ勉強会、事業所の職員との親睦交流会、除雪ボランティアなど、さまざまな活動をおこなっている。

地域安心拠点と住民互助組織を同時に立ち上げ

- 事業所
- 住民
- 1 発足メンバー (15名)
- 2 拡大メンバー (18名)
- 3 開設直後の拡大メンバー (16名)



人と人のつながりを先につくり、その中に「地域安心拠点」をつくりました。

友の会によるコーヒー茶ろん



友の会による朝市(事業所の駐車場)



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	鷹栖町
② 人口（※1）	7, 336人 北野地区（3, 425人）
③ 高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上・・・28.65% 75歳以上・・・15.35% 北野地区（23.71%） （12.38%）
④ 取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と事業所の協働による地域安心拠点づくりに、設計から参画。 ・一つの小学校区に、人と人とのつながりを先行した施設づくり
⑤ 取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民参画による「自分が住みたい施設」づくりへの参加・協力 ・住民組織は「仲間づくり」を中心に、組織化しない（代表・役員なし）、無理をしない、負担をかけない、強制しない ・住民自身が介護や認知症、家族が寝たきりなど、自分の事として考える
⑥ 開始年度	平成18年度
⑦ 取組のこれまでの経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・行政・社協・事業所による住民参加型施設づくり勉強会の開催 ・地域リーダーとの出会い。住民の会発足。「地域ニーズ調査」の実施 ・住民と事業所の協働による地域安心拠点の立ち上げ ・仲間づくりを主目的にコーヒー茶ろん・朝市・勉強会等の開催
⑧ 主な利用者と人数	地域住民と施設利用者
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体・・・社会福祉法人 さつき会 関連団体・・・ぬくもり友の会（地域住民組織 会員60名）
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	地域交流スペース建設費に対する補助（町単300万円）
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫ 取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体の動きまでに至っておらず、他の地域に対するシステム構築 ・高齢化による住民組織の弱体化防止
⑬ 今後の取組予定	地域住民、事業所、社協、行政の協働で「助け合い・支え合い」の町づくりシステムの取組
⑭ その他	住民活動（話し合い等）の約束ごと <ul style="list-style-type: none"> ・愚痴を言わない（人手がない、お金がない、制度が悪いなど） ・具体的な提案をする。相手の批判をしない（反対意見には具体的な提案を）
⑮ 担当部署及び連絡先	担当部署・・・鷹栖町 福祉課 連絡先・・・鷹栖町サンホールはぴねす（電話0166-87-2112番）

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。